

総務経済常任委員会記録簿				
会議日程	令和8年5月11日 9:25～11:25			
場所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	元井委員長	中村副委員長	池田委員	伊東委員
	向野委員			
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名	田原課長	太原課長補佐	春主査	森島主査
	泊技師補			
付議事件	・所管事務調査：農業振興に関する調査			
	・農林課への聞き取り調査			
担当職員名	昇書記	委員長署名	元井 直志	
会 議 の 概 要				
<p>1. 農業生産の現状と実績</p> <p>農林課の各担当者より、主要作物の生産状況が報告されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹・花卉: タンカン（販売額約7,982万円）やパッションフルーツ（約4,431万円）が主力です。マンゴーは約1,001万円、小菊は約89万円となっています。 ・野菜・サトウキビ: かぼちゃの販売額は約374万円です。サトウキビ（令和6年度実績）は、16名が13haで栽培し、約1,498万円の算出額となっています。 ・畜産・養蜂: 肉用牛は12戸で225頭を飼育し、販売額は約1億2,754万円と大きな割合を占めています。養豚は2戸、養蜂は1戸（販売額未把握）です。 <p>2. 主な補助制度と支援策</p> <p>農林課より、多岐にわたる支援メニューが提示されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産支援: 果樹の苗木購入費の半額助成、タンカン等の選果料助成（1kgあたり36円）、荒廃農地の開拓支援（10aあたり5,000円の手数料で整備）などがあります。 ・設備・機械: ビニールハウス整備（パッション等）への補助や、農業機械の貸し出しが行われています。 ・新規就農: 50歳以上のUターン者や49歳以下の新規就農者に対し、研修中や経営開始後の資金交付制度が整えられています。 ・畜産支援: 仔牛の運搬費用助成、優良雌牛の導入支援、飼料価格高騰対策などが実施されています。 <p>3. 質疑応答における主な課題と議論</p> <p>委員と農林課の間で、実態に即した課題解決に向けた議論が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データの精査: 資料上の「個数」は農業振興会の部会員数であり、実際に出荷実績がない者も含まれる可能性があるため、実態把握のための精査が必要とされました。 ・離島地区のコスト負担: 加計呂麻・請・与路島などの離島地区では、資材や製品の海上運送費が本島地区より余計にかかっており、現在は畜産以外の補填制度がないため、今後の検討課題となりました。 ・畜産業の衰退への懸念: 飼養頭数が5年前の300頭から225頭へ減少しており、飼料高騰による経営悪化が深刻です。廃業も視野に入れた個別の対話や経営診断の必要性が示唆されました。 ・農業振興の指針と多様な展開: 果樹以外の脆弱な野菜・花卉をどう伸ばすかが課題です。家庭菜園を直売所などを通じて現金収入に繋げる仕組みづくりや、加計呂麻島の伝統的なサトウキビ（きび酢原料）の生産者維持など、農家の意欲を引き出す指針作りが求められています。 <p>農林課は現在、全農家を対象とした困り事調査を実施中であり、6月までにその結果を整理して今後の施策に反映させる意向を示しました。</p> <p>4. 今後のスケジュール</p> <p>農家への現地ヒアリング調査を6月15日の週に2日間で検討することで調整を進めます。農家の選定は、農林課に推薦を依頼し、事務局を通じて正式な日程調整を行うこととなりました。</p>				